

研究の背景・目的

近年、スギ・ヒノキ林が伐採面積が拡大しつつあります。伐採後には再び造林する必要がありますが、再造林を行うには下刈り（下草刈り）などに高額な経費を要します。そこで、生長量が大きく、下刈りを省略できるスギ品種を開発します。本研究では育種手法としてイオンビーム照射等による突然変異育種を用います。

研究方法

種子にイオンビーム等の放射線を照射します。これを播種・育苗したのち、交配等により成長の旺盛な個体を選抜します。本年度はつぎの試験を行います。

- 1) イオンビーム等を種子に照射したのち、苗を育苗し成長を調査します。
- 2) 通常、交配を行うには苗木を大きくする必要があり、長期間を要します。そこで、交配までの期間を短縮するため、1～4年生程度の苗木に対して、ホルモン処理を行い雄花と雌花を早期に形成させる手法を検討します。



スギ 種子



2年生苗木に形成された雄花

研究成果の活用・今後の研究計画

本研究によって、成長の良いスギ品種が開発できると期待されます。本品種は造林後早く成長するため、下刈りを省略できると考えられます。下刈り費用を含む育林コストを大幅に削減することができます。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 森林保護育成科

研究担当者 : 陶山 大志 (すやま ひろし)

問い合わせ先 : 0854-76-3823

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 低コスト育林に向けた高成長スギ品種の開発 (H25)